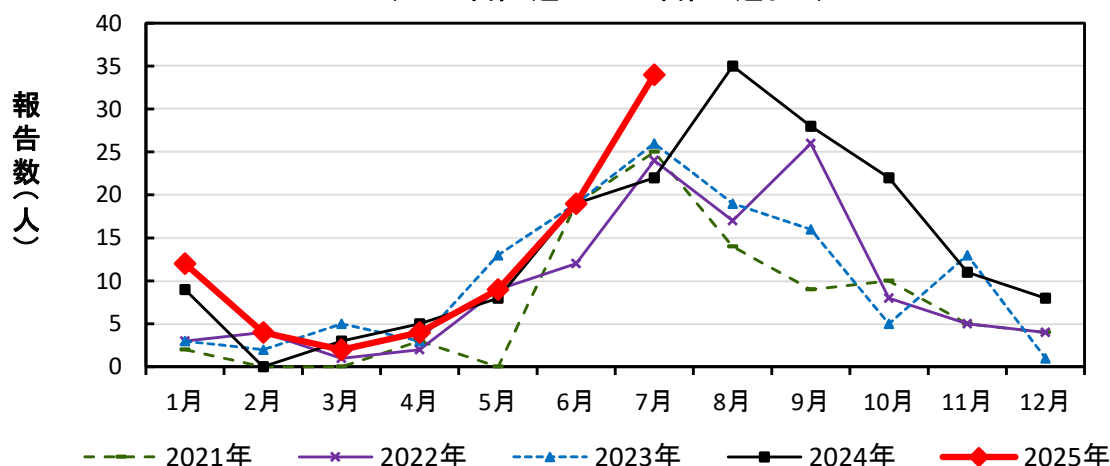


腸管出血性大腸菌感染症が増えています！

- 群馬県内の保育施設において、**腸管出血性大腸菌感染症の集団発生**がありました。
- 例年、**初夏から秋**にかけて多く報告されています。
- 2025年は第30週までに84件の報告がありました。（前年同時期：63件）

腸管出血性大腸菌感染症 月別報告数
(2021年第1週～2025年第30週まで)



◆ どんな病気？

食品や手についた腸管出血性大腸菌が口から体の中に入ることによって感染します。

- 主な症状：下痢、腹痛、血便、発熱
- 潜伏期間：多くは3～5日
- 特徴：**高齢者や乳幼児で重症化しやすい**

少ない菌量でも感染する

無症状でも便中に菌を排出し、周りに感染を広げるおそれがある



◆ 予防するには？

- 帰宅後、食事前など石けんと流水による**手洗い**を徹底する。
- 肉の生食は避け、中心部まで十分に火を通し、**中心部の色が変わるまで加熱**する。
- まな板・包丁・トングなどは、**生肉用と生肉以外用とで使い分ける**。
- 生野菜**はよく**洗って**食べる。
- 調理器具の**洗浄と消毒**をしっかり行う。



◆ 感染を広げないために

- 下痢や腹痛**などの症状がある人は、**速やかに医療機関を受診**する。
- 症状のある人は**家族と一緒に入浴せず、最後に入る**。
- 症状のある人の下着は、**塩素系漂白剤でつけ置き消毒**し、家族のものとは分けて洗濯する。
- トイレやおむつ交換**のあとは必ず**手を洗う**。

